

5

1こののち、ユダヤ人の祭があつたので、イエスはエルサレムに上られた。  
2エルサレムにある羊の門のそばに、ヘブル語でベテスダと呼ばれる池があつた。そこには五つの廊があつた。  
3その廊の中には、病人、盲人、足なえ、やせ衰えた者などが、大ぜいからだを横たえていた。「彼らは水の動くのを待っていたのである。  
4それは、時々、主の御使がこの池に降りてきて水を動かすことがあるが、水が動いた時まつ先にはいる者は、どんな病氣にかかつていても、いやされたからである。」  
5さて、そこに三十八年のあいだ、病氣に悩んでいる人があつた。  
6イエスはその人が横になっているのを見、また長い間わづらっていたのを知つて、その人に「なおりたいのか」と言われた。  
7この病人はイエスに答えた、「主よ、水が動く時に、わたしを池の中に入れてくれる人がいません。わたしがはいりかけると、ほかの人が先に降りて行くのです」。  
8イエスは彼に言われた、「起きて、あなたの床を取りあげ、そして歩きなさい」。  
9すると、この人はすぐにいやされ、床をとりあげて歩いて行つた。  
その日は安息日であつた。

5

10そこでユダヤ人たちは、そのいやされた人に言つた、「きょうは安息日だ。床を取りあげるのは、よろしくない」。  
11彼は答えた、「わたしをなおして下さつたかたが、床を取りあげて歩くと、わたしに言われました」。  
12彼らは尋ねた、「取りあげて歩けと言つた人は、だれか」。  
13しかし、このいやされた人は、それがだれであるか知らなかつた。群衆がその場にいたので、イエスはそつと出て行かれたからである。  
14そののち、イエスは宮でその人に出会つたので、彼に言われた、「ごらん、あなたはよくなつた。もう罪を犯してはいけない。何かもつと悪いことが、あなたの身に起るかも知れないから」。  
15彼は出て行つて、自分をいやしたのはイエスであつたと、ユダヤ人たちに告げた。  
16そのためユダヤ人たちは、安息日にこのようなことをしたと言つて、イエスを責めた。  
17そこで、イエスは彼らに答えられた、「わたしの父は今に至るまで働いておられる。わたしも働くのである」。  
18このためにユダヤ人たちは、ますますイエスを殺そうと計るようになった。それは、イエスが安息日を破られたばかりではなく、神を自分の父と呼んで、自分を神と等しいものとされたからである。

5

19 さて、イエスは彼らに答えて言われた、「よくよくあなたがたに言っておく。子は父のなざることを見てする以外に、自分からは何事もすることができない。父のなざることであればすべて、子もそのとおりになるのである。

20 なぜなら、父は子を愛して、みずからなざることは、すべて子にお示しになるからである。そして、それよりもなお大きなわざを、お示しになるであろう。あなたがたが、それによって不思議に思うためである。

21 すなわち、父が死人を起して命をお与えになるように、子もまた、そのころにかなう人々に命を与えるであろう。

22 父はだれをもさばかない。さばきのことはずべて、子にゆだねられたからである。

23 それは、すべての人が父を敬うと同様に、子を敬うためである。子を敬わない者は、子をつかわされた父をも敬わない。

24 よくよくあなたがたに言っておく。わたしの言葉を聞いて、わたしをつかわされたかたを信じる者は、永遠の命を受け、またさばかれることがなく、死から命に移っているのである。

25 よくよくあなたがたに言っておく。死んだ人たちが、神の子の声を聞く時が来る。今すでにきている。そして聞く人は生きるであろう。

26 それは、父がご自分のうちに生命をお持ちになっていると同様に、子にもまた、自分のうちに生命を持つことをお許しになったからである。

27 そして子は人の子であるから、子にさばきを行う権威をお与えになった。

28 このことを驚くには及ばない。墓の中にいる者たちがみな神の子の声を聞き、

29 善をおこなった人々は、生命を受けるためによみがえり、悪をおこなった人々は、さばきを受けるためによみがえって、それぞれ出てくる時が来るであろう。

30 わたしは、自分からは何事もすることができない。ただ聞くままにさばくのである。そして、わたしのこのさばきは正しい。それは、わたし自身の考えであるのではなく、わたしをつかわされたかたの、み旨を求めているからである。

5

31 もし、わたしが自分自身についてあかしをするならば、わたしのあかしはほんとうではない。

32 わたしについてあかしをするかたはほかにあり、そして、その人がするあかしがほんとうであることを、わたしは知っている。

33 あなたがたはヨハネのもとへ人をつかわしたが、そのとき彼は真理についてあかしをした。

34 わたしは人からあかしを受けないが、このことを言うのは、あなたがたが救われるためである。

35 ヨハネは燃えて輝くあかりであった。あなたがたは、しばらくの間その光を喜び楽しむようになった。

36 しかし、わたしには、ヨハネのあかしよりも、もっと力あるあかしがある。父がわたしに成就させようとしてお与えになったわざ、すなわち、今わたしがしているこのわざが、父のわたしをつかわされたことをあかししている。

37 また、わたしをつかわされた父も、ご自分でわたしについてあかしをされた。あなたがたは、まだそのみ声を聞いたこともなく、そのみ姿を見たこともない。

38 また、神がつかわされた者を信じないから、神の御言はあなたがたのうちにとどまっていない。

39 あなたがたは、聖書の中に永遠の命があると思っ調べているが、この聖書は、わたしについてあかしをするものである。

40 しかも、あなたがたは、命を得るためにわたしのもとにこようともしない。

41 わたしは人からの誉を受けることはしない。

42 しかし、あなたがたのうちには神を愛する愛がないことを知っている。

43 わたしは父の名によつてきたのに、あなたがたはわたしを受けいれない。もし、ほかの人が彼自身の名によつて来るならば、その人を受けいれるのであろう。

44 互に誉を受けながら、ただひとりの神からの誉を求めようとしないうちに、あなたがたは、どうして信じることができようか。

45 わたしがあなたがたのことを父に訴えようと、考えてはいけない。あなたがたを訴える者は、あなたがたが頼みとしているモーセその人である。

46 もし、あなたがたがモーセを信じたならば、わたしをも信じたであろう。モーセは、わたしについて書いたのである。

47 しかし、モーセの書いたものを信じないならば、どうしてわたしの言葉を信じるだろうか。

1 そののち、イエスはガリラヤの海、すなわち、テベリヤ湖の向こう岸へ渡られた。  
 2 すると、大ぜいの群衆がイエスについてきた。病人たちになぎついていたしるしを見たからである。  
 3 イエスは山に登って、弟子たちと一緒にそこで座につかれた。  
 4 時に、ユダヤ人の祭である過越が間近になっていた。  
 5 イエスは目をあげ、大ぜいの群衆が自分の方に集まって来るのを見て、ピリポに言われた、「どこからパンを買ってきて、この人々に食べさせようか」。  
 6 これはピリポをためそうとして言われたのであって、ご自分ではしようとするのを、よくご承知であった。  
 7 すると、ピリポはイエスに答えた、「二百デナリのパンがあっても、めいめいが少しずついたたくにも足りませんまい」。  
 8 弟子のひとり、シモン・ペテロの兄弟アンデレがイエスに言った、  
 9 「ここに、大麦のパン五つと、さかな二ひきとを持っていく子供がいます。しかし、こんなに大ぜいの人では、それが何になりましょう」。  
 10 イエスは「人々をすわらせなさい」と言われた。その場所には草が多かった。そこにすわった男の数は五人ほどであった。  
 11 そこで、イエスはパンを取り、感謝してから、すわっている人々に分け与え、また、さかなをも同様にして、彼らの望むだけ分け与えられた。  
 12 人々がじゅうぶんに食べたのち、イエスは弟子たちに言われた、「少しでもむだにならないように、パンくずのあまりを集めなさい」。  
 13 そこで彼らが集めると、五つの大麦のパンを食べて残ったパンくずは、十二のかごにいっぱいになった。  
 14 人々はイエスのなさったこのしるしを見て、「ほんとうに、この人こそ世にきたるべき預言者である」と言った。  
 15 イエスは人々がきて、自分をとらえて王にしようとしていると知って、ただひとり、また山に退かれた。  
 16 夕方になったとき、弟子たちは海べに下り、  
 17 舟に乗って海を渡り、向こう岸のカペナウムに行きかけた。すでに暗くなっていたのに、イエスはまだ彼らのところにおいでにならなかった。  
 18 その上、強い風が吹いてきて、海は荒れ出した。  
 19 四、五十丁こぎ出したとき、イエスが海の上を歩いて舟に近づいてこられるのを見て、彼らは恐れた。  
 20 すると、イエスは彼らに言われた、「わたした、恐れることはない」。  
 21 そこで、彼らは喜んでイエスを舟に迎えようとした。すると舟は、すぐ、彼らが行こうとしていた地に着いた。

22 その翌日、海の向こう岸に立っていた群衆は、そこに小舟が一そうしかなく、またイエスは弟子たちと一緒に小舟にお乗りにならず、ただ弟子たちだけが船出したのを見た。  
 23 しかし、数そうの小舟がテベリヤからきて、主が感謝されたのちパンを人々に食べさせた場所に近づいた。  
 24 群衆は、イエスも弟子たちもそこにいないと知って、それらの小舟に乗り、イエスをたずねてカペナウムに行った。  
 25 そして、海の向こう岸でイエスに出会ったので言った、「先生、いつ、ここにおいでになったのですか」。  
 26 イエスは答えて言われた、「よくよくあなたがたに言うておく。あなたがたがわたしを尋ねてきているのは、しるしを見たためではなく、パンを食べて満腹したからである」。  
 27 朽ちる食物のためではなく、永遠の命に至る朽ちない食物のために働くがよい。これは人の子があなたがたに与えるものである。父なる神は、人の子にそれをゆだねられたのである」。  
 28 そこで、彼らはイエスに言った、「神のわざを行うために、わたしたちは何をしたらよいでしょうか」。  
 29 イエスは彼らに答えて言われた、「神がつかわされた者を信じて、神のわざである」。  
 30 彼らはイエスに言った、「わたしたちが見てあなたを信じるために、どんなしるしを行って下さいますか。どんなことをして下さいますか」。  
 31 わたしたちの先祖は荒野でマナを食べました。それは『天よりのパンを彼らに与えて食べさせた』と書いてあるとおりです」。  
 32 そこでイエスは彼らに言われた、「よくよく言うておく。天からのパンをあなたがたに与えたのは、モーセではない。天からのまことのパンをあなたがたに与えるのは、わたしの父なのである」。  
 33 神のパンは、天から下つてきて、この世に命を与えるものである」。  
 34 彼らはイエスに言った、「主よ、そのパンをいつもわたしたちに下さい」。  
 35 イエスは彼らに言われた、「わたしが命のパンである。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決してかわくことがない」。  
 36 しかし、あなたがたに言ったが、あなたがたはわたしを見たのに信じようとはしない」。  
 37 父がわたしに与えて下さる者は皆、わたしに来るであろう。そして、わたしに来る者は決して拒みはしない」。  
 38 わたしが天から下つてきたのは、自分のままで行うためではなく、わたしをつかわされたかたのみこころを行うためである」。  
 39 わたしをつかわされたかたのみこころは、わたしに与えて下さった者を、わたしがひとりも失わずに、終りの日によみがえらせることである」。  
 40 わたしの父のみこころは、子を見て信じる者が、ことごとく永遠の命を得ることなのである。そして、わたしはその人々を終りの日によみがえらせるであろう」。

6

41 ユダヤ人らは、イエスが「わたしは天から下ってきたパンである」と言われたので、イエスについてつぶやき始めた。

42 そうして言った、「これはヨセフの子イエスではないか。わたしたちはその父母を知っているではないか。わたしは天から下ってきたと、どうして今いふのか」。

43 イエスは彼らに答えて言われた、「互につぶやいてはいけない」。

44 わたしをつかわされた父が引きよせて下さらなければ、だれもわたしに来ることはできない。わたしは、その人々を終りの日によみがえらせるであろう。

45 預言者の書に、『彼らはみな神に教えられるであろう』と書いてある。父から聞いて学んだ者は、みなわたしに来るのである。

46 神から出た者のほかに、だれかが父を見たのではない。その者だけが父を見たのである。

47 よくよくあなたがたに言っておく。信じる者には永遠の命がある。

48 わたしは命のパンである。

49 あなたがたの先祖は荒野でマナを食べたが、死んでしまった。

50 しかし、天から下ってきたパンを食べる人は、決して死ぬことはない。

51 わたしは天から下ってきた生きたパンである。それを食べる者は、いつまでも生きるであろう。わたしが与えるパンは、世の命のために与えるわたしの肉である」。

52 そこで、ユダヤ人らが互に論じて言った、「この人はどうして、自分の肉をわたしたちに与えて食べさせることができようか」。

53 イエスは彼らに言われた、「よくよく言っておく。人の肉を食べず、また、その血を飲まなければ、あなたがたの内に命はない」。

54 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者には、永遠の命があり、わたしはその人を終りの日によみがえらせるであろう。

55 わたしの肉はまことの食物、わたしの血はまことの飲み物である。

56 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者はわたしにおり、わたしもまたその人におる

57 生ける父がわたしをつかわされ、また、わたしが父によって生きているように、わたしを食べる者もわたしによって生きるであろう

58 天から下ってきたパンは、先祖たちが食べたが死んでしまったようなものではない。このパンを食べる者は、いつまでも生きるであろう」。

59 これらのことは、イエスがカペナウムの会堂で教えておられたときに言われたものである。

6

60 弟子たちのうちの多くの者は、これを聞いて言った、「これは、ひどい言葉だ。だれがそんなことを聞いておられようか」。

61 しかしイエスは、弟子たちがそのことでつぶやいているのを見破って、彼らに言われた、「このことがあなたがたのつまりぎになるのか」。

62 それでは、もし人の子が前にいた所に上るのを見たら、どうなるのか

63 人を生かすものは霊であつて、肉はなんの役にも立たない。わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、また命である。

64 しかし、あなたがたの中には信じない者がいる」。イエスは、初めから、だれが信じないか、また、だれが彼を裏切るかを知っておられたのである。

65 そうしてイエスは言われた、「それだから、父が与えて下さった者でなければ、わたしに来ることはできないと、言ったのである」。

66 それ以来、多くの弟子たちは去っていつて、もはやイエスと行動を共にしなかった。

67 そこでイエスは十二弟子に言われた、「あなたがたも去ろうとするのか」。

68 シモン・ペテロが答えた、「主よ、わたしたちは、だれのところに行きましょう。永遠の命の言をもっているのはあなたです」。

69 わたしたちは、あなたが神の聖者であることを信じ、また知っています」。

70 イエスは彼らに答えられた、「あなたがた十二人を選んだのは、わたしではなかったか。それなのに、あなたがたのうちのひとは悪魔である」。

71 これは、イスカリオテのシモンの子ユダをさして言われたのである。このユダは、十二弟子のひとりでありながら、イエスを裏切ろうとしていた。